

令和4年3月15日

保健医療技術学部学生の皆さんへ

2022年度前期の授業について

学部長 川良 徳弘
教務委員長 西方 浩一

〈2022年度 前期授業 運営に関する大学方針〉が3月2日に配信されました。

2022年度の前期授業は、原則として対面にて実施します。

(ただし、ハイフレックス型授業含む)。

これを受けて保健医療技術学部の方針を説明します。

1. 対面授業について

- 1) 第3項に示しています感染対策を行った上で対面授業を実施します。
- 2) 授業の一部をオンデマンド等で補うことがあり、各科目担当教員が説明します。
- 3) 一部では、教室内と自宅オンライン・ライブでそれぞれ受講する学生がおり、授業回ごとに受講形式を交替する方法をとります。これをハイフレックス型授業と呼びます。

2. 遠隔授業について

- 1) 一部、遠隔授業をとおして実施する科目があります。遠隔授業、特にオンデマンド授業は、わかるまで反復して視聴できる、自分のペースで学習できる、動画や資料などから学習意欲をかきたてられるという利点もあり、これらの利点を活かして下さい。

3. 感染対策について

- 1) 期間を通して健康観察チェックシートを記入して、自分の体調に留意するようにして下さい。登校してよいか迷うときには、教務グループに連絡・相談して下さい。登校の際は健康観察チェックシートを携行して下さい。必要時に教員が確認します。
- 2) 教室・実習室はマスク着用の上、人数をコントロールして密集しないように使用します。入室後に手指消毒を行い、机等の消毒も徹底して下さい。
- 3) 飲食を行う際は、黙食を励行して下さい。

4. 病院実習について

- 1) 実習受け入れ先の状況によって、学内代替実習に変わることがあります。
- 2) 受け入れ先の感染防止対策が本学のプロトコール(手順)より厳しい場合、受け入れ先のプロトコールに従ってください。

以上